

第21回クロマティックハーモニカ道場 一美塾 発表会

2021年7月18日(日)

順番	氏名	演奏曲	教室
1	吉村 幸子	Fly Me To The Moon	佐賀
	<p>3年ほど前に、大牟田での徳永先生のライブの後、その場で先生のCD「Day Break」を購入しました。その中の1曲「Fly Me To The Moon」に聞き惚れ、いつかこの曲を吹けるようになりたいという夢ができました。</p> <p>ところが、このCDにももちろん譜面はなく、半ば諦めていました。昨年、春頃にこの曲を吹くためにはやっぱり自分で譜面を作るしかないと思うようになり、鉛筆と消しゴムを繰り返しながら、採譜しました。はじめはCDに合わせて吹くだけで嬉しかったものの、だんだんとこのアレンジをバックに実際に吹きたくなりました。中島先生に相談したところ、なんと徳永先生に連絡して下さい、おかげさまでそのカラオケCDが手元に、そして編集までしていただいたCDで、昨夏の発表会に続き、今日また演奏することができます。</p> <p>またラッキーなことが続き、全く想像もしていなかった展開で、コンテストにまで出場させていただくことになりました。先生方のきめ細かい御指導やお力添えに心より御礼申し上げます。渾身の力を込めて吹きたいと思います。</p>		
2	久留米サンフレンズ	巣立ちの歌	久留米
	<p>久留米教室皆さんで頑張っって練習し、どうにかコンテスト予選を通過しました。練習時間はあと少しですが、出るからには皆さんと🍷を目指したいです!!(原田 秀徳) 西日本ハーモニカのコンテストに向けて頑張ります!!(久保田 敏子)</p>		
3	アンサンブル一美塾	小さな世界	一美塾
	<p>コロナという人類未経験の危機のなか、ひるまずハーモニカで培った皆の絆で困難に勇敢に立ち向かっていく一美塾。西日本ハーモニカコンテスト決勝進出へ、さあ、今飛び立とう!!(平嶋雅之)</p> <p>この”小さな世界”という曲ですが、徳永先生の模範演奏を聴いた瞬間、九州ハーモニカ連盟の定期演奏会で演奏しようと思いました。しかし、演奏時間が少し短いこと、途中で転調し、全員で演奏するには少し難しいこと、この2点を考慮して、アドリブを加えて演奏時間を長くする、転調しないで最後までいくことにしました。アドリブはさほど難しくなく、うきうきするような曲調にしたいと何度も何度も譜面を作っては書き直すという作業を延々と続けました。コンテストにこの曲で臨むと決意してからは、私の編曲の師匠である有江園子先生から貴重なアドバイスをいただきました。久留米教室の渡邊満子さんですが、これまでコンテストに向けて頑張っってこられました、家庭の事情により出場できなくなりました。指揮者も含めて16名の出場ですが、プログラムには渡邊さんの名前も掲載されています。コンテスト当日、17名が一丸となって日頃の成果を発揮してくれることを願いつつ、客席で聴きます。(中島一夫)</p>		
4	平嶋 雅之	思い出のグリーングラス	天神
	<p>目標:草場、吉村、高木さんたちのようにステキな演奏ができればいいなー。</p> <p>一美塾6年生です。各教室及び全体の発表会、慰問ボランティア、吹きまくりなどに参加し、「早春賦」や「椰子の実」など主に、小学唱歌を演奏してきました。</p> <p>ひとつとして満足な演奏はなく、反省ばかり。正確なリズムや豊かな表現力を習得して、来年中学へ進級し「Close to you」や「You raise me up」など青春音楽へチャレンジしてみたいと思っています。(2016年5月天神教室入門)</p>		